

公益財団法人日本バレーボール協会 2015 年度第 6 回理事会(定例) 概要

1 日 時：2015 年 10 月 20 日(火) 14：00～16：30

2 会 場：JVA 大会議室

3 出席者：

理事総数 19 名

出席理事 17 名

会長（代表理事）木村憲治

理事 志水雅一、林孝彦、下山隆志、宮島淑行、桐原勇人、井原実、岡野貞彦、迫田義人、竹内浩、中上孝文、林義治、福本ともみ、丸山由美、宮嶋泰子、山口香、坂本友理（報告 2 より出席）

監事総数 3 名

出席監事 2 名

高橋治憲、大西浩志

4 議 長：木村憲治

5 決議事項

- (1) 組織変更について
- (2) 倫理規程の改定について

6 議事の経過の要領及びその結果

会長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

続いて議事録記名押印理事に宮嶋理事を選出し、次の議案の審議に入った。

(1) 組織変更について

組織変更について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

事務局組織内に「東京 2020 大会準備室」を新設し、以下の通り役職者を配置したい。

- 東京 2020 大会準備室長：林孝彦(業務執行理事・事務局長兼務)
- 東京 2020 大会準備室担当部長：小島和行(業務推進室担当部長兼務)

また、東京 2020 大会準備会議メンバーは、林孝彦（東京 2020 大会準備室長）、井原実（業務推進室長）、桐原勇人（ビーチバレーボール事業本部長）、迫田義人（JVA 理事・東京都バレーボール協会専務理事）、灰西克博（国際事業本部副本部長兼国際業務部長）、斎藤聖二（企画部長）、小田桐隆司（強化支援部長）、小島和行（東京 2020 大会準備室担当部長）とする。

新組織の設置に伴い、事務局規程の改定が行われ、下記の通りの所轄業務等が定められた。

＜事務局規程抜粋＞

第 10 条 東京 2020 大会準備室は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携・調整のもと、バレーボール競技及びビーチバレーボール競技に関する次の業務を処理する。

- （１）東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）開催準備全般に関すること
- （２）東京 2020 大会開催準備にかかわる費用全般に関すること
- （３）競技施設に関すること
- （４）競技運営に関すること
- （５）競技ボランティアに関すること
- （６）テストイベント開催に関すること
- （７）出場国チーム、選手の事前キャンプ受入れに関すること

*改定内容の詳細は、資料記載のとおり。

(2) 倫理規程の改定について

倫理規程の改定について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

倫理規程に基づき処分した事例が過去 2 年間に 3 回発生したが、その過程で倫理委員会から規程の見直しについての意見が出され検討を行った結果、以下の通り提案することになった。

・第 3 条-2-(1)

＜修正の視点：暴力行為は指導者に限ったものではないため「指導者に名を借りた」を削除。ハラスメントは多岐にわたり社会問題となっているため表現を変更。＞

「暴力行為、いじめ、パワーハラスメント、セクシャルハラスメントを始めとするあらゆるハラスメント、差別、暴言等、その他人権尊重の精神に反する言動」

・第3条2-(11)

「賭博、強盗、恐喝、窃盗、強姦、強制わいせつ、暴行など刑事犯罪」 <削除>

⇒ 第3条2-(13) に整理・集約化

・第3条2-(13)

<修正の視点：刑事犯罪に関する表記及び重複している文章の整理。>

「その他、窃盗、暴行など刑事犯罪をはじめとする上記第3条1に掲げる趣旨に著しく反する行為」

・第5条1-(3) 本会に登録した個人または団体

<修正の視点：具体的な処分の記載・整理。>

「登録抹消、無期限資格停止、期限付き資格停止、競技会への出場停止、戒告、**嚴重注意**、その他必要に応じた処分」

*改定内容の詳細は、資料記載のとおり。

7 報告事項

(1) 2015年度第2四半期職務執行報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2015年度第2四半期の職務執行報告が行われた。主な報告内容は以下の通りである。

【木村代表理事／会長】

- ①ワールドカップ男女大会 視察
- ②ビーチバレーボールグランドスラム横浜大会 視察
- ③FIVB アリ会長と JVA 執行理事懇談会 出席
- ④広島市長・外山市長知事 表敬訪問
- ⑤全日本男子記者会見 出席
- ⑥Vリーグ監督研修会 講義
- ⑦国民体育大会開会式 挨拶

【林業務執行理事／事務局長】

- ①Vリーグ機構 理事会・運営会議 出席
- ②VB オリンピアンの会記者会見 出席
- ③西脇前理事との業務引継ぎ
- ④ワールドカップ男女大会 視察

- ⑤東京 2020 大会準備室の新設
- ⑥各事業本部と打ち合わせ
- ⑦Vリーグ機構開催地会議・社員総会 出席

【下山業務執行理事／国際・国内事業本部長】

- ①ワールドカップ男女大会役員・実行委員会として参加
- ②各種大会挨拶
(全国小学生大会、全国6人制クラブ・カップ、
全国ママさんバレーボール大会等)
- ③日本テレビ、TBS、フジテレビへの挨拶
- ④毎日新聞本社、毎日放送 訪問
- ⑤A級審判員資格取得講習会
- ⑥和歌山県国民体育大会 挨拶・運営

【宮島業務執行理事／M&M事業本部長】

- ①各種大会来賓対応
(ワールドグランプリ、ビーチバレーボールシリーズA行橋、
グランドスラム、小学生大会、ワールドカップ等)
- ②全日本関連、天皇杯・皇后杯マーケティング契約
- ③オフィシャルスポンサー契約
- ④肖像使用関連業務
- ⑤バレーボール@原宿・オンライン
- ⑥「VOLLEYBALL CHANNEL」の番組チェック及び企画内容の確認

【桐原業務執行理事／ビーチバレーボール事業本部長】

- ①各種大会運営
(Vリーグマッチ、シリーズA行橋・大洗・若狭おばま大会、
FIVB グランドスラム横浜大会、和歌山国体イベント事業等)
- ②東京オリンピック組織委員会との打ち合わせ
- ③シリーズAファイナル開催地会議
- ④品川区ビーチバレーイベント 視察
- ⑤2019 茨城県国体開催地会議 出席

【井原業務執行理事／業務推進室長】

- ①ワールドカップ男女大会 視察
- ②Vサマーフェスティバル反省・意見交換会
- ③業務推進室 コンプライアンス関係打合せ
- ④男子強化委員会 出席

- ⑤アリーナスポーツ評議会 出席
- ⑥JVA システムの現状調査等

【荒木田強化本部長】

- ①ワールドカップ全日本女子 帯同
- ②JOC リオ対策会議 出席
- ③ジャカルタアジア大会 2018 調整会議（ジャカルタ）出席
- ④ワールドカップ女子大会全日本女子チーム 帯同
- ⑤ワールドカップ男子大会全日本男子チーム 視察
- ⑥TOKYO2020 理事会 出席

(2) 2015年度第2四半期予算執行状況について

第2四半期予算執行状況について、以下の通り説明が行われた。

第2四半期の収入は年間の36%（1,365百万）を見込んでいたが、現金ベース（収益と費用を現金の受け渡しの時点で認識する会計）等であることから、入金が期ずれとなった理由もあり、進捗率は予算の50%（686百万）にとどまった。特に予算未達成のうちM&M事業本部の物販縮小による影響が25%（348百万）を占めた。

費用は年間の28%（1094百万）を見込んでいたが、進捗率は予算の50%（553百万）にとどまる。特に予算未達のうちM&M事業本部の物販縮小による影響が257百万（23%）を占めた。

2015 年度上半期実績報告について、JVA の会計が現金ベースということもあり、進捗率は例年低めに推移する傾向にあるが、本年度は特に低くなっている。M&M 事業本部の物販縮小による影響、また、国際大会の精算が第3 四半期に反映される影響が大きいことが原因となっている。

(3) 他団体役員の推薦について

他団体役員の推薦について、以下の通り説明が行われた。

公益財団法人日本オリンピック委員会の評議員、公益財団法人日本体育協会評議員の職に、前任者から正式に辞表が提出された為、今後は、現在の業務執行理事・事務局長林孝彦氏を推薦していきたい。

また、公益財団法人スポーツ安全協会の評議員の職への推薦については、改めて検討していく予定である。

■公益財団法人日本オリンピック委員会

(理事)	竹内 浩	(任期) H27.6～H29.6
(評議員)	林 孝彦	(任期) H27.6～H31.6

(総務委員会委員)	井原 実	(任期) H27. 6～H29. 6
(選手強化本部委員)	小田勝美	(任期) H27. 6～H29. 6
(日本ユニバーシアード委員会委員)	積山和明	(任期) H27. 6～H29. 6
■公益財団法人日本体育協会		
(理事)	不老 浩二	(任期) H27. 6～H29. 6
(評議員)	林 孝彦	(任期) H27. 6～H31. 6
■一般社団法人日本トップリーグ連携機構		
(評議員)	木村 憲治	(任期) H27. 28 年度
■一般社団法人日本バレーボールリーグ機構		
(理事)	木村 憲治	(任期) H26. 9～H28. 9
(理事)	林 孝彦	(任期) H26. 9～H28. 9
■公益財団法人スポーツ安全協会		
(評議員)	(未定)	

(4) アジアバレーボール連盟（以下「AVC」という）理事・各種委員会の候補者について
2016 年度 AVC 理事・各種委員会候補者として以下のメンバーリストを AVC に提出したことが報告された。

・理事／審判委員会委員	下山 隆志
・スポーツイベントカウンスル委員	遠藤 俊郎
・財務委員会委員	宮島 淑行
・コーチ委員会委員	川北 元
・ビーチバレーボール委員会委員	桐原 勇人
・医事委員会委員	吉澤 穰治

(5) 功労者Ⅱ表彰について

第 6 期（2015 年度）第 2 回功労者Ⅱ表彰として下記の方々の表彰決定が報告された。

○第 6 期（2015 年度）第 2 回功労者Ⅱ表彰者

亀山 紘美	(愛知県バレーボール協会 副会長)
村井 恒夫	(埼玉県バレーボール協会 副会長)
幡 勉	(奈良県バレーボール協会 監事)
碓井 喜晴	(北海道バレーボール協会 常任理事)
関原 榮司	(北海道バレーボール協会 理事)
安田 輝之	(岐阜県バレーボール協会 参与)
小澤 義孝	(滋賀県バレーボール協会 常任理事)
加藤 哲也	(千葉県バレーボール協会 副理事長)

(6) 今後の事業計画骨子について

今後の事業計画骨子について以下の通り説明が行われた。

■足元を固める

= “つなぐ力” を基盤とした風土改革の推進（単年度の取組から風土として定着化させる）

●風土改革を推進する上での 3C（Commitment, Communication, Complete）の徹底（行動指針）

●具体的行動計画

1. 財務体質の改革のために
2. Project CORE の見直しと実践
3. 各加盟団体や JVA 部門間とのコミュニケーションの活性化
4. ガバナンスの強化（コンプライアンス規程の策定他）

■将来を見据える

= 中期事業計画（5年）・2050年構想（5年×7節=35年）の策定

●2050年構想の構築

●中期計画の企画・立案と実践（第1節 2016～2020年度）

●戦略企画会議（仮称）の設置

●2050年構想、中期計画の広報活動の展開

※詳細は資料記載の通り

以 上